令和８年度 木材利用推進コンクール
受賞施設等の概要

木材利用推進中央協議会

【優良施設部門】

〈内閣総理大臣賞〉
日建設計 北海道オフィス（北海道）

〈農林水産大臣賞〉
第一生命京橋キノテラス（東京都）

〈文部科学大臣賞〉
アグリカレッジ福島-アグリ探求棟・屋外作業準備棟・一般宿泊棟・学生寮-（福島県）

〈国土交通大臣賞〉
多機能型重症児者等通所施設　すまいる畑（滋賀県）

〈環境大臣賞〉
トヨタモビリティ新大阪寝屋川店（大阪府）

〈林野庁長官賞〉
・KiGi AKIHABARA（東京都）
・福岡武道館（福岡県）

〈木材利用推進中央協議会会長賞〉
・京北森林組合　木造倉庫（京都府）
・第76回全国植樹祭　お野立所（愛媛県）
・芦北町地域優良賃貸住宅　友田団地（熊本県）

〈審査委員会特別賞〉
・YUKI office（埼玉県）
・清水建設　東京木工場（東京都）

【優良施設部門】〈優秀賞〉

①滝上町国民健康保険診療所（北海道）
②ファーストプライウッド木造製品倉庫（青森県）
③（株）江刺住建 アーチ作業所（岩手県）
④桜の聖母学院小学校・中学校（福島県）
⑤小井土製材 新事務所・新倉庫（群馬県）
⑥共創施設「佑啓」（東京都）
⑦ブランシエスタ目黒中央町（東京都）
⑧プライマル品川大井町（東京都）
⑨PRISM Ⅱ（東京都）
⑩立教大学　１９号館（東京都）
⑪オーベルジュ Né（新潟県）
⑫脱ぎ着する集会場（富山県）
⑬石川県立いしかわ特別支援学校大場校舎（石川県）
⑭CAMPINGCAR GARDEN（静岡県）
⑮静清信用金庫　安東支店/横内支店（静岡県）
⑯城山保育園（愛知県）
⑰豊田自動織機　刈谷事務棟（愛知県）
⑱名工建設総合技術研修センター（愛知県）
⑲木育施設　しがモック（滋賀県）
⑳石田梅岩記念館（京都府）
㉑無印良品　精華台（京都府）
㉒大阪信用金庫本店（大阪府）
㉓多可町立多可中学校（兵庫県）
㉔美郷町カヌー艇庫（島根県）
㉕一般社団法人仲多度郡・善通寺市医師会館（香川県）
㉖根本山宝満堂 大日堂（福岡県）
㉗照葉はばたき公民館・老人いこいの家複合施設新築工事（福岡県）
㉘ミリカローデン那珂川（福岡県）
㉙無印良品　那珂川（福岡県）

〈優良施設部門〉

内閣総理大臣賞

日建設計 北海道オフィス（北海道札幌市）



【施設概要】

コロナ以降に行われた日建設計各拠点のワークプレイス再整備の一環として、北海道知事公館の森に面する敷地に北海道オフィスを新築計画した。

北海道の郷土樹種トドマツの発展的活用を社会課題と捉え、構造材としてのCLT、外装材、床、造作、家具など計379㎥を多様に活用し、新しい価値の物語をつくることを目指した。

また「創エネ」に頼らず、高断熱や自然換気、井水熱・地中熱等の「省エネ」設計のみで北海道初のNearly ZEB認証を取得。将来ペロブスカイト太陽光電池の実装でZEB化を予定。

今後、運用で得た技術・実績と道産材活用の知見を社会へ発信していく。

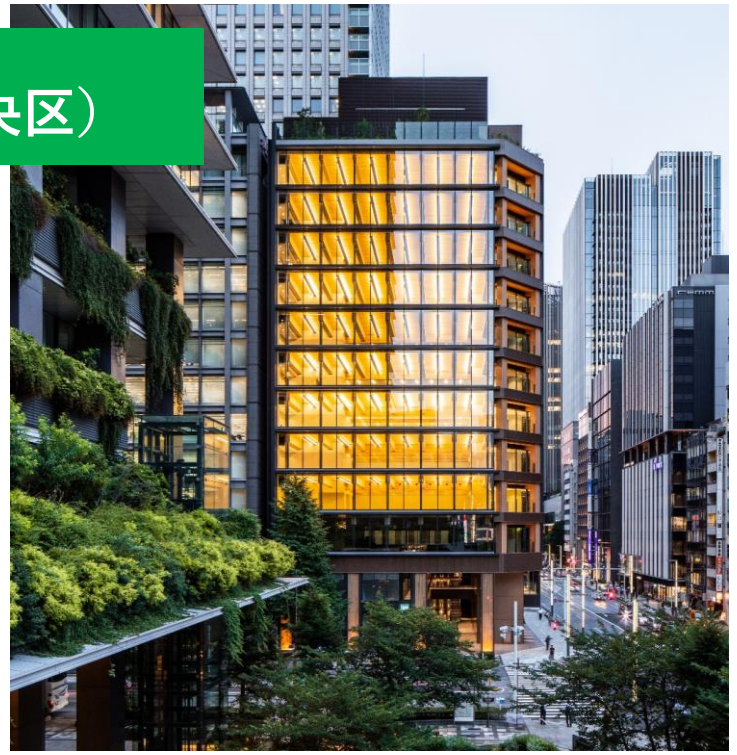


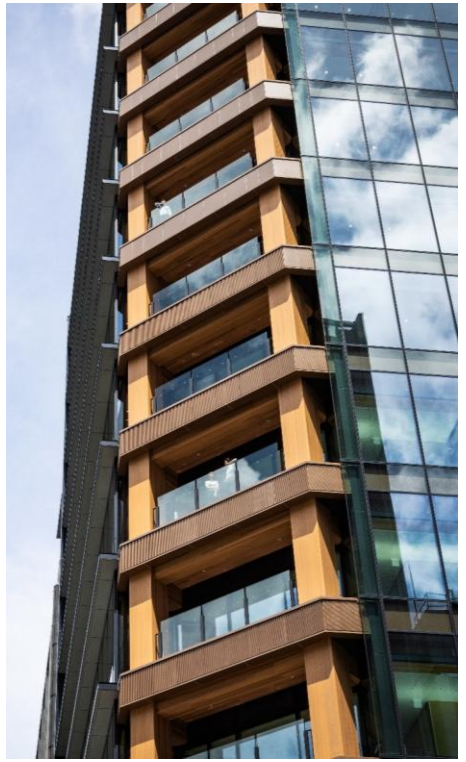
施主	株式会社 日建設計
設計	株式会社 日建設計
施工	株式会社 大林組 札幌支店
主要構造	木構造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の混構造
延床面積	1,382㎡
主な使用樹種	トドマツ

農林水産大臣賞

〈優良施設部門〉

第一生命京橋キノテラス（東京都中央区）

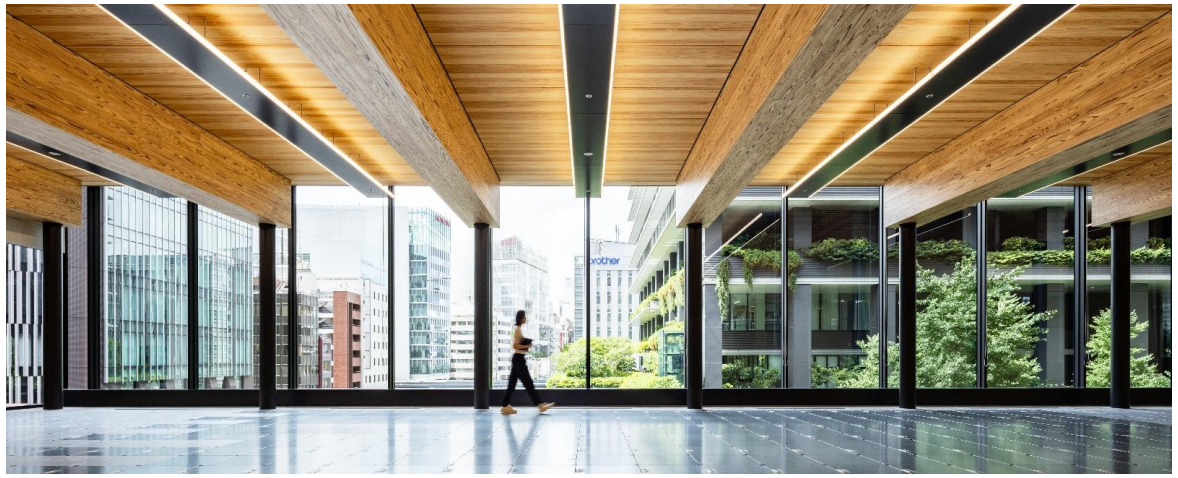




【施設概要】

ウェルビーイングや「人に寄り添う」という第一生命の理念とサステナビリティを、中高層木造ハイブリッドテナントオフィスとして具現化した。単なる環境負荷低減に留まらず、都市に温かみと生命力を与え、人々に新たな価値をもたらす挑戦でもある。

オフィスビルとして国内最大級の木材使用量（約1,100m3）を確保しながら、分散コア形式の採用により、木造と鉄骨造の双方の強みを活かす40m×17mの木質無柱空間を、また、地震力から解放された外周架構により、木梁と鋼管柱で高い開放性をもつ窓廻りを実現した。



施主	第一生命保険株式会社
設計	清水建設株式会社一級建築士事務所
施工	清水建設・日本建設共同企業体
主要構造	鉄骨造一部木造及び鉄筋コンクリート造
延床面積	16,151㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ

文部科学大臣賞

〈優良施設部門〉

アグリカレッジ福島-アグリ探求棟・屋外作業準備棟・一般宿泊棟・学生寮-
（福島県西白河郡矢吹町）



【施設概要】

スマート農業などの最先端の学びと交流を促す研修施設、宿泊施設、学生寮を一体整備する計画。伐採から加工まで県内で完結するよう8棟は1000㎡以下の分棟形式とし、すべて在来木造とした。

農家家屋の曲家のようなL型の軒先と、各棟へのびる渡り廊下が既存校舎とも連続し、敷地全体を有機的につなぎ、集落から町へと連続するような景観。ホールは、製材の張弦梁とリングが屋根を支え、最先端の農業機械がステージまで乗り入れができ、半透明のシャッター越しにその姿がのぞき、ホールの赤い六角形屋根とともに新しいシンボルとなる。



施主	福島県
設計	辺見設計・C＋A共同企業体
施工	藤田建設工業㈱
主要構造	木造軸組工法
延床面積	4,449.98㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ、ナラ、ツガ、タモ、アカマツ 他

〈優良施設部門〉

国土交通大臣賞

多機能型重症児者等通所施設 すまいる畑
（滋賀県彦根市）



【施設概要】

医療的ケアを必要とする重症児者の社会生活を支える場でありながら大胆に地域に開放していることが特徴。見通しのよいワンルーム的間取りとしつつ、大きさ・高さ、明るさの幅広いレンジと柱梁の構造によって様々な居場所を作っている。木のよさを最大に活かして福祉施設の概念を変え、街の核として認知されている。

設計段階から森林組合、製材所と連携し、施設利用者と家族らを山や製材所に案内して、森林環境と建築への理解、愛着へつなげた。



施主	社会福祉法人道
設計	b.i.n木村敏建築設計事務所
施工	株式会社松井建設
主要構造	木造軸組工法
延床面積	349㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

〈優良施設部門〉

環境大臣賞

トヨタモビリティ新大阪寝屋川店
（大阪府寝屋川市）



【施設概要】

大阪府寝屋川市のロードサイドに立地する、建築主社有林（鳥取県若桜町160ha）のスギ材を活用したカーディーラーの建替え計画。木造と鉄骨の混構造により木部材断面を最小化し、木造屋根部分では二方向格子梁を独自開発し、ショールームのロングスパンを汎用性のある木部材寸法で実現した。

木材使用量239㎥（0.20㎥/㎡）、炭素固定量170[t-CO2]、ZEB Ready認証（52%削減）を達成した。伐採後の植林で社有林サイクルを確立し、自動車産業に関わる建築主の、地球環境や脱炭素への姿勢を示す計画とした。

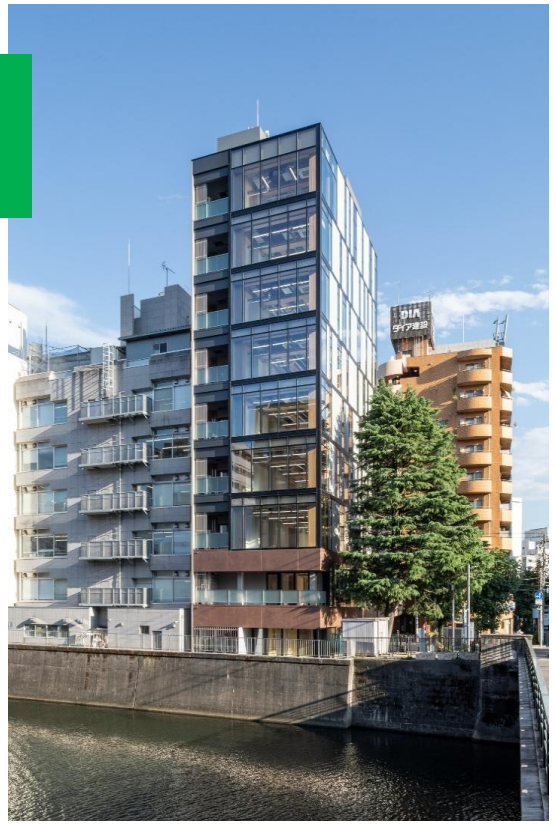


施主	トヨタモビリティ新大阪株式会社
設計	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
主要構造	木造軸組工法、鉄骨造
延床面積	1,224㎡
主な使用樹種	スギ

〈優良施設部門〉

林野庁長官賞

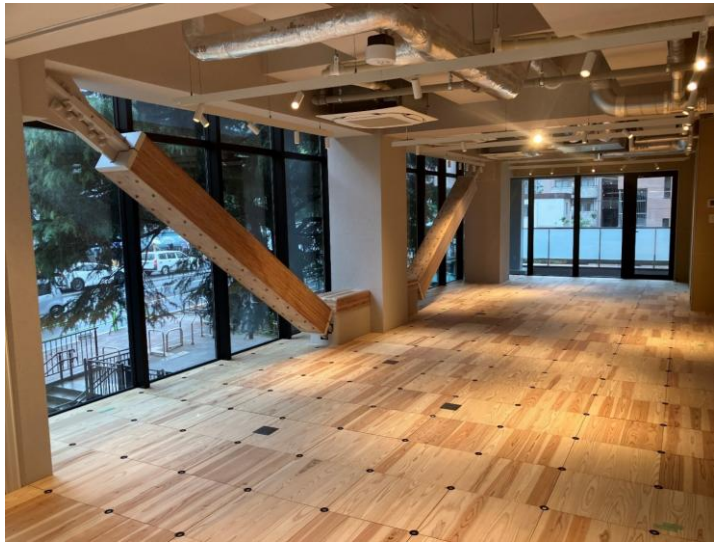
KiGi AKIHABARA（東京都千代田区）



【施設概要】

『木でつながる。人がかがやく。』を掲げる地上9階建ての先進的木造ハイブリッドオフィス。主用途はオフィスであるが、神田川に面した1階をカフェ、2階を共用ラウンジ兼イベントスペースとして一般開放。テナント以外の一般利用者も日常的に本物の木の温もりや香りに触れる機会を増やすと共に、環境・サステナブル関連のイベントを定期開催する。

人々が木に親しみ、森の心地よさを体験できる、都市と豊かな森林とを結ぶ『都市の中の森の入口』となる存在を目指す。



施主	株式会社サンケイビル
設計	株式会社熊谷組一級建築士事務所
施工	株式会社熊谷組東京建築支店、住友林業株式会社
主要構造	木造、鉄骨造
延床面積	1,072㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ

〈優良施設部門〉

林野庁長官賞

福岡武道館（福岡県福岡市）



【施設概要】

「武道の精神と福岡の文化の融和」をコンセプトに次世代へ継承されるべき新たなスポーツ振興の拠点を模索した。福岡の伝統工芸「博多織」の精神を木質ハイブリッド架構として昇華し、構造と意匠を高度に統合し、狭小敷地に巨大な無柱空間を積層させるため、上層へ向けて軽量化する合理的な構造を採用している。

県産材を適材適所で大量利用しつつ、大規模スポーツ施設として稀有な「ZEB Ready」を達成した次世代の武道拠点である。



施主	福岡県
設計	株式会社梓設計
施工	戸田・溝江・起産特定建設工事共同企業体
主要構造	木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積	13,609㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ、マツ

木材利用推進中央協議会会長賞

〈優良施設部門〉

京北森林組合　木造倉庫（京都府京都市）



【施設概要】

京北の林業のための資材倉庫と車庫である。計画は、地域の修景、山とまちの価値と文化の循環の促進、大工技術の継承を目的としている。施工は地元の大工棟梁の工務店が請負い、建築専門学校の学生大工チームが手刻み、建て方、造作工事をサポートしている。

架構材の多くは、組合の倉庫に長く残るサイズの大きい在庫材を活用した。設計においては、学生大工チームである事や多種寸法在庫材である事を考慮して、比較的簡易な加工で行える「挟み梁工法」を採用している。



施主	京北森林組合
設計	髙橋勝建築設計事務所一級建築士事務所
計画監修	京都建築専門学校　佐野春仁
施工	東工務店、京都建築専門学校学生大工チーム
主要構造	木造軸組工法
延床面積	247㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

〈優良施設部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

第76回全国植樹祭　お野立所
（愛媛県松山市）


撮影：西川公朗

【施設概要】

第76回全国植樹祭において天皇皇后両陛下がご着座される式典施設(お野立所)。輸送可能な最大サイズ12m×2.3mの県産スギ・ヒノキCLTを極力切断せず用い、起こす・回転・ずらす等六つの図形操作のみで石鎚山を象徴する形態を導出した。

点対称の構成を視認性・日射降雨・接合合理性の要件でわずかに崩し、動勢と式典にふさわしい美しさを両立。接合は全てボルト等の乾式とし、解体後のパネル再利用を前提とする。建方は4日間。


写真撮影：愛媛県


撮影：西川公朗

施主	第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会
設計	矢野青山建築設計事務所
施工	株式会社大江工務
主要構造	木造
延床面積	80㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

〈優良施設部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

芦北町地域優良賃貸住宅　友田団地
（熊本県葦北郡芦北町）



【施設概要】

子育て世代が安心して生活できる環境を整え、転出抑制・転入促進による魅力的な地域づくりを進めていくための町有林を活用したスキップフロアーの木造２階建て住宅。町有林を用いた構造材は、機械等級区分のＪＡＳ認定を取得し、在来木軸工法による耐震等級３の安全性を確保した。

公営住宅として新たな試みである薪ストーブの燃料は、間伐材等を使い地域林業と自然の共生への試みを始めている。足湯・薪置場・ボンベ庫は、令和２年７月豪雨で整備された木造仮設住宅の集会場で使用されていた木材を再利用した。



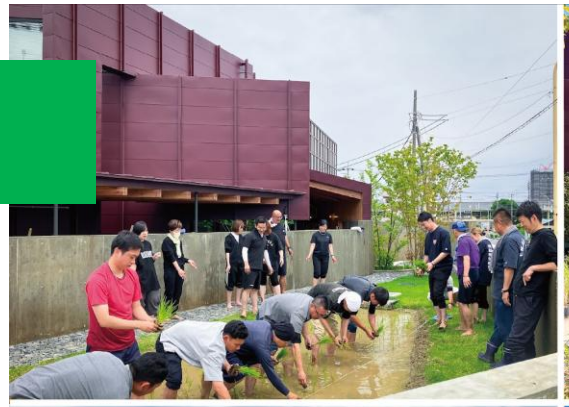


施主	熊本県芦北町
設計	有限会社 DIK設計室 龍口元哉建築設計事務所 株式会社 太宏設計事務所
施工	松島・中村特定建設工事共同企業体
主要構造	木造軸組工法
延床面積	1,468㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

〈優良施設部門〉

審査委員会特別賞

YUKI office （埼玉県久喜市）






【施設概要】

「食と健康を考える」有機野菜販売企業の本社屋計画。敷地内で行われている農作業風景は地域の方に見えるようにしながら、商品開発などがある建物内部はセキュリティーを確保したい。この相反する要望に応えるために、3本の螺旋壁を敷地に巡らせる構成を考えた。

この壁は敷地境界に沿いに低く計画され畑・水田・井戸・お稲荷様を外から見えるようにし、敷地内部に行くごとに徐々に高さを持ち建築の内部空間を作る。螺旋壁に利用したCLTはその加工性や大空間を活かした過去にない構法にも挑戦し、木造建築に新しい指標を示した。




施主	株式会社ゆうき
設計	株式会社UENOA architects
施工	八光建設株式会社
主要構造	木造（CLTパネル工法＋木造軸組工法）
延床面積	740㎡
主な使用樹種	ヒノキ

〈優良施設部門〉

審査委員会特別賞

清水建設　東京木工場（東京都江東区）



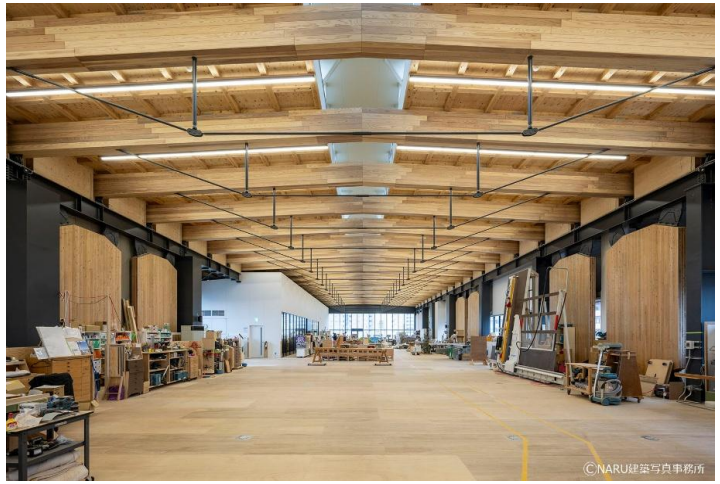




【施設概要】

江戸時代から貯木場と知られる江東区木場の平久川沿いで140年以上稼働してきた東京木工場の建替計画です。宮大工を祖業とする清水建設の木工場として、木の伝統を継承するため「木の文化・技術・魅力の発信拠点」をコンセプトとした。

本計画では、耐火建築物の「工場棟」、準耐火建築物の「来客棟」の2棟を木造化し、都市部における木質建築の普及と様々な建築ニーズに資するため、先導的な木造技術の開発に取り組んだ施設。カーボンニュートラル社会の中で様々な課題を「木のチカラ」で解決する場所として計画した。



施主	清水建設株式会社
設計	清水建設株式会社
施工	清水建設株式会社
主要構造	木鋼ハイブリッド構造
延床面積	393㎡
主な使用樹種	スギ、カラマツ、ベイマツ

【国産材利用推進部門】

〈農林水産大臣賞〉

株式会社シェルター（山形県）

〈林野庁長官賞〉

・タマホーム株式会社（東京都）
・株式会社サイプレス・スナダヤ（愛媛県）

〈木材利用推進中央協議会会長賞〉

・株式会社woodinfo（東京都）
・兼松サステック株式会社（東京都）
・ファーストウッド株式会社（東京都）

農林水産大臣賞

〈国産材利用推進部門〉

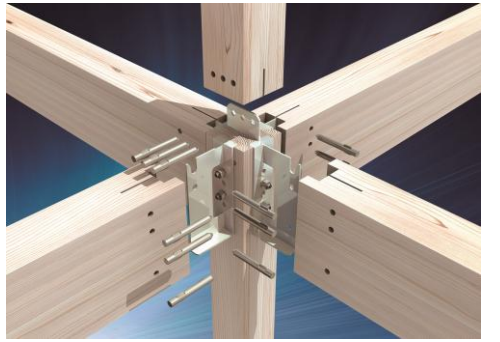
株式会社シェルター（山形県）

【取組概要】

日本初となる接合金物工法の開発や木質耐火部材による３時間耐火認定の取得など、中大規模木造建築のパイオニアとして木造建築の技術革新に大きく貢献している。都心における木造中高層ホテルや木造商業施設の建築をはじめ、国産材を使用した木質耐火部材による木造耐火建築物の普及など、先駆的な取組にも意欲的に取り組んでいる。

創業からの50年間で構築した森林組合、木材加工業者、プレカット工場等の関係企業とのネットワークを活かし、全国各地で国産材（地域産材）利用のトータルコーディネーターとして、設計者、施工業者と協業し、地域材サプライチェーンの構築にも貢献している。

事業者名	株式会社シェルター
所在地	山形市松栄1-5-13
業種＜業態＞	住宅・非住宅関係事業者＜川下＞
国産材利用量	約28,621㎥

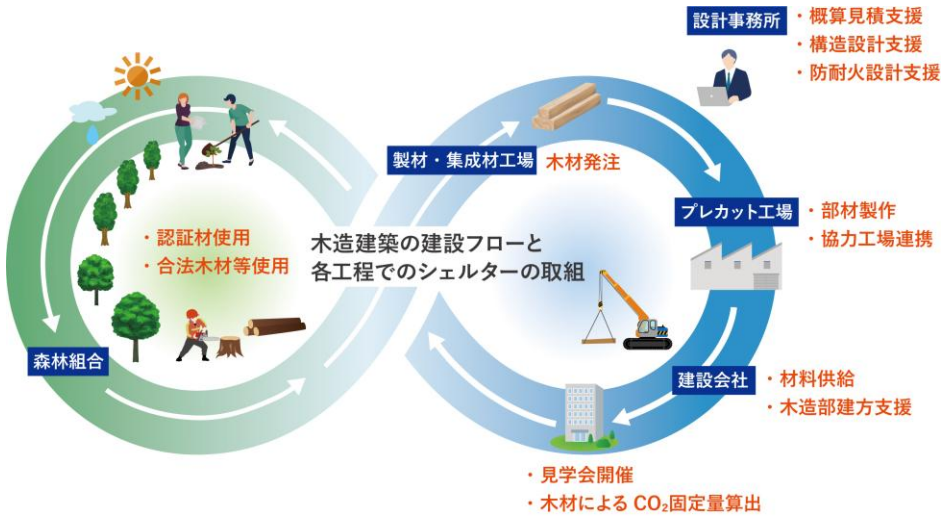


〈日本初の接合金物工法〉



写真提供：平和不動産（株）

〈都心の木造中高層建築〉



〈サプライチェーン形成の取組〉

林野庁長官賞

タマホーム株式会社（東京都）

〈タマストラクチャーによるサプライチェーンの形成〉



【取組概要】

タマストラクチャーという木材流通システムを構築することにより森林組合や林業者、製材工場などと直接つながる独自の流通システムを確立し、地域材の利用に貢献している。１棟あたり約74.1%という高い国産材使用率を実現するとともに、樹種や品質の確認を行い、安定的に高品質な材料の供給を行っている。

エンドユーザーに対して、林業体験・工場見学を行う「森林ツアー」を開催するなど、国産材への理解を深める啓蒙活動にも取り組んでいる。

〈国産材を使った住宅供給〉





※大安心の家・大安心の家［愛］・［暖］の構造躯体による国産材使用率。
その他商品の国産材使用率は異なります。
（自社調べ）

事業者名	タマホーム株式会社
所在地	東京都港区高輪３丁目22-9
業種＜業態＞	住宅関係事業者＜川下＞
国産材利用量	188,992㎥

林野庁長官賞

〈国産材利用推進部門〉

株式会社サイプレス・スナダヤ（愛媛県）

【取組概要】

従前は輸入材の製材メーカーであったが、2008年（平成20年）から事業方針を大きく転換し国産材での製材を開始、2018年（平成30年）には国内最大級の新工場を稼働させて生産性を大幅に上げ、現在では年間30万㎥を超える国産材利用量となっている。

特にヒノキの取扱量は国内一を誇り、ヒノキ材製品のトップクラスの企業となっている。

非住宅建築用構造材のCLTにもいち早く目を付け、2018年の新工場建設時にCLT製造ラインを設けてCLTの製造を開始し、現在は5,000㎥を超える生産量となっている。大手建設会社等との連携によるCLTの技術開発等を進め、非住宅建築における国産木材構造材市場の拡大に取り組んでいる。

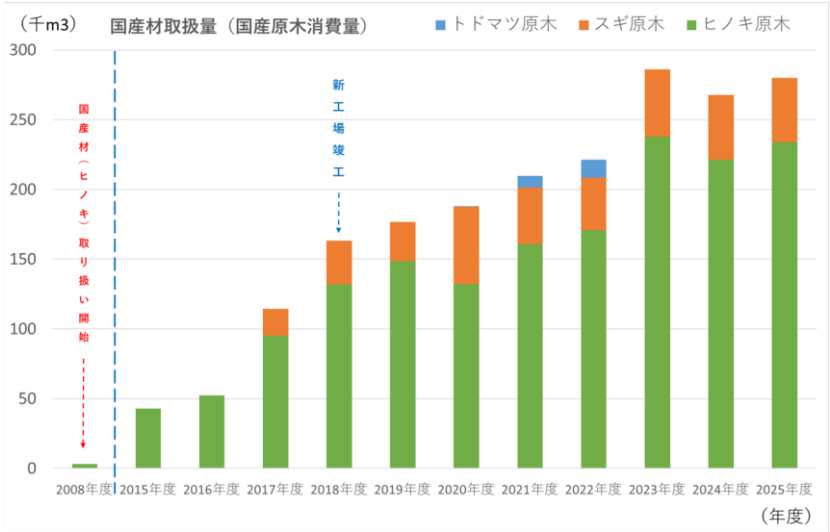
事業者名	株式会社サイプレス・スナダヤ
所在地	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1
業種＜業態＞	製材・集成材・合板業者＜川中＞
国産材利用量	332,069㎥　※（国産材ラミナ取扱量を含む）



〈ヒノキ集成材〉



〈CLTプレスとスギCLT〉



〈国産材の取扱量〉

〈国産材利用推進部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

株式会社woodinfo（東京都）

【取組概要】

国産材利用を拡大するためには、国産材を単に「伐って市場に出す」だけではなく、買い手が「探せる・選べる・見に行ける・入札できる」状態にすることが重要と考え、インターネット原木市場システムを構築・運用。これにより、原木市場の活性化、国産材の適切な価格形成、国産材利用の拡大をはじめとして、地域材の安定供給、需要とのマッチングの可能性拡大などに貢献している。

また、森林・木材流通分野に特化したICT企業として、複数市場を横断的に閲覧できるメタ市場（仮）、森林資源量調査、森林GIS、地上レーザー計測、AIを用いた森林経営計画自動立案システムなどによる森林DXなど、持続可能な森林経営へとつながる意欲的な取組を推進している。

事業者名	株式会社woodinfo
所在地	東京都杉並区井草5-18-13 KIビル 403
業種＜業態＞	流通業者＜川中＞
国産材利用量	680,086㎥



〈原木流通、インターネット市場活用〉



〈森林DX・資源量解析〉



〈森林管理・モニタリング〉

木材利用推進中央協議会会長賞

〈国産材利用推進部門〉

兼松サステック株式会社（東京都）

【取組概要】

軟弱な地盤に住宅を建てる際に地盤補強が必要となるが、従来はセメントや鉄が多く採用されていたものを間伐材を含む国産木材を有効活用し、国内の林業活性化への貢献、国産材の需要拡大の推進に寄与している。

木材を利用した地盤補強の取組は、2009年(平成21年）７月に開始、施工実績は累計58,000棟（2026年（令和８年）５月）を超えている。原材料となる木材の調達から製造、加工、物流、施工に至るまで、関係事業者と連携したサプライチェーンを構築し、使用木材によるCO2固定のほか、木材加工の際の電力使用の一部に太陽光発電でまかなうなど、サプライチェーン全体における持続可能性の向上にも取り組んでいる。

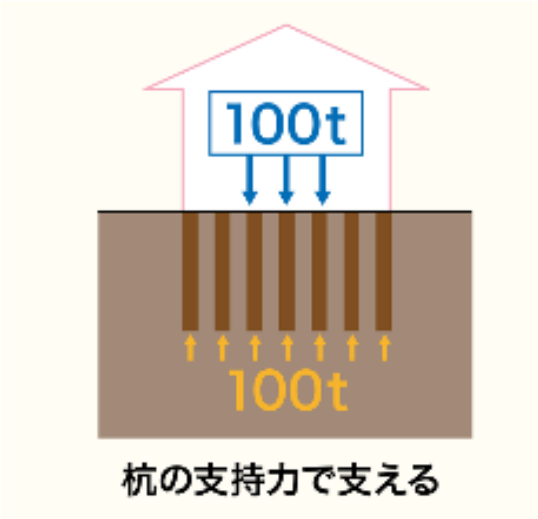
事業者名	兼松サステック株式会社
所在地	東京都中央区日本橋浜町三丁目 トルナーレ日本橋浜町６階
業種＜業態＞	その他（木材による地中地盤補強）＜川中＞
国産材利用量	23,190㎥



〈地盤補強に使用する木材 〉



〈木材の地中打設〉



〈木材を使用した地盤補強 〉

〈国産材利用推進部門〉

木材利用推進中央協議会会長賞

ファーストウッド株式会社（東京都）

【取組概要】

長年、北欧材や北米材に依存していたプレカット市場において、グループ内ビルダー向けの柱や羽柄材の国産材への代替を行い、自社集成材のスギ集成柱の生産量を５年で４.５倍に増加したほか、住宅の天井下地であった鋼製野縁を国産スギLVLに切り替える等、５年間で３割増の年間約13万㎥の国産LVL市場を生み出した。

青森県の社有林（約130ha)での自社育成スギ苗木の年間１万本規模での生産、植林のほか、青森県森林組合連合会との協定締結による県産原木の計画調達、川下のグループビルダー等との間での年間を通じた生産計画の立案など、国産材を計画的かつ安定して使い続ける持続可能な体制を構築している。

事業者名	ファーストウッド株式会社
所在地	東京都武蔵野市西久保１丁目６番22号 飯田グループホールディングス別館
業種＜業態＞	製材・集成材・合板・プレカット業者＜川中＞
国産材利用量	405,187㎥



〈プレカット部材〉


〈LVL（単板積層材）〉